



山本稀仁さん 名誉総裁秋篠宮賞受賞

池田町在住の山本稀仁さんのひょうたんランプが、第40回全日本愛瓢会で最高賞の名誉総裁秋篠宮賞を受賞しました。愛瓢会は、全国のひょうたん愛好家が集まり、栽培や加工した作品の展示会などを行っている団体です。山本さんの作品のテーマは、「がんばれ東北 結」。親子の絆の大切さや地に足をつけて力強く踏ん張る様子が、LEDライトの優しい光とともに表現されています。山本さんは、「これからも人の心が癒せるような優しさが伝わる作品づくりをしていきたい」と語ってくれました。

小中高生が手作りの絵本を発表

子どもたちに絵本づくりを通じて楽しみながら英語に触れてもらおうと6月から始まった「旅する絵本づくりプロジェクト」発表会が9月21日、教育センターで行われました。発表会ではそれぞれの作品を生徒らが感情をこめて読み上げ、20人の絵本作品が紹介されました。三好市の花をテーマに「ぼくはサギソウ」を発表した山田修平君（池高2年）は、サギソウ保全に取り組んだ経験をもとに絵本を仕上げ「緊張したけど作品を紹介できてよかった」と感想を語ってくれました。絵本は今後、市内の図書館や学校に配布されます。



ジビエや名酒がわくわくフェスタで大集合

JCわくわくフェスタが9月21日、へそっこ公園や駅前商店街などで開催されました。鹿肉を使った串焼きやカツサンド、イノシシの肉を使ったコロッケやラゲソースパスタなどいろいろな地元産のジビエ料理が味わえるとあって、多くの来場者がつめかけ堪能しました。ジビエとは、食用とする野生鳥獣やそのお肉のことで、高タンパクで低カロリー、ビタミンも豊富です。他にも四国各地の名酒を味わえる四国酒まつり秋の陣や銀座よろず市、子どもたちに人気の妖怪ウォッチのジバニャンバラエティーショーなど子どもから大人まで楽しめるイベントに終日多くの人で賑わいました。

箬蔵地区で交通安全パレード



秋の全国交通安全運動に合わせ、箬蔵小学校児童や幼稚園児が9月25日、同校周辺の国道などでパレードを行い、ドライバーらに安全運転を呼び掛けました。パレードでは、4年生以上でつくる鼓笛隊を先頭にPTAや三好交通安全協会箬蔵支部員らが参加し学校を出発。トランペットや鍵盤ハーモニカなどを演奏しながら約2kmを行進し、通行者に飲酒運転根絶など交通ルールの順守をアピールしました。期間中、交通安全講習会や四国中央市との合同キャンペーンも行われ交通事故防止の徹底を図りました。

感謝の気持ちを敬老会で発表



敬老の日を中心に、市内の各地区で平成27年度敬老会が華やかに開催されました。井川ふるさと交流センターでは、山口湘羽君（辻小4年）をはじめ児童3名が作文を朗読し、感謝の気持ちを伝えました。各会場では地域の方々のご協力により、趣向を凝らした歌や踊りなどで盛り上がり参加者らを元気づけました。三好市の77歳以上の敬老会対象者は6,491人。このうち100歳以上の方は40人（8月末現在）で、最高齢者は女性の103歳の方です。これからお元気で、健やかにお過ごしください。

五穀豊穰を願って大平の獅子舞



五穀豊穰などを願う「大平の獅子舞」が9月20日、三野町太刀野山の出羽神社で行われました。「大平の獅子舞」の原形は、天正5年（1577）足代城主三好備前守が柞野の地に隠棲の折伝授したといわれ、合計24曲で編成されています。大平獅子舞保存会のメンバーによる獅子舞の動きは、天衣無縫なしぐさの中にも優雅な姿で、躍動する稚児の舞い、高らかに鳴り響く鉦、太鼓の音色によって舞われ、市指定無形民俗文化財になっています。

盆栽師平尾成志さん 母校で講演会

母校出身者で世界で活躍している方をお招きし、夢の実現に向けて努力することの大切さなどを学んでもらおうと9月16日、盆栽師の平尾成志さんの講演会が池田中学校で行われました。平尾さんは、大学在学中に訪れた東福寺の方丈庭園に感銘を受け、加藤蔓青園の門を叩き弟子入り。5年間の修行を経て、現在は国内外で盆栽の実演などを行い、盆栽文化の継承に努めています。講演の最後には「何か熱中できるものを作ってほしい。それがいつか必ず役に立つ」と後輩240人にエールを送りました。



マルシェ恒例のうだつちんどんが練り歩く

第13回うだつマルシェが9月21日、池田町本町通り周辺で開催され、市内外から約65店舗が出店、マルシェ名物の「うだつちんどん」が通りを練り歩きました。また、アーティストのニシユキさんが、マルシェ会場内に仏像の顔出し看板体験ブースを設置。JCわくわくフェスタと同時開催されたこともあり、多くの方が足をとめ、体験したり記念撮影を撮ったりしていました。その他にもおいしい紅茶の入れ方のワークショップなども行われ、来場者は思い思いの時を過ごしていました。